



「卒業証書授与式を終えて」

校長 和田 亮一

3月1日に卒業証書授与式（以下、卒業式）を挙行了しました。今年度の卒業式は、できるだけコロナ禍以前の実施方法で挙げる方向で準備を進めていました。2月中旬に発出された県教育委員会の通知をもとに検討し直し、新たな工夫を行うこととしました。

その一つが、通知で「マスクを外すことを基本とする」とされた卒業生及び教職員の座席の間隔です。座席の前後左右の間隔を1m程度空けることとしました。

このように新たな感染症対策を講じた上で、卒業生とその保護者の皆様には、文書で次のような内容をお知らせしました。

○卒業生と教職員はマスクを外すことを基本とすること。

○国歌等の斉唱の際にはマスクを着用すること。

○事情等によりマスクを常時着用する者がいること。

卒業生自身の判断もしくはご家族と相談したうえでの判断で、卒業式ではマスクを着脱することとしました。卒業式ではマスクを外している卒業生もいれば、マスクを付けている卒業生もいました。

さらに、3年ぶりに卒業生一人ひとりに校長より卒業証書を手渡ししました。

また、卒業式後に卒業生を祝うために生徒玄関で待機している在校生がいました。令和元年度以降の3年間には前任校で私が見ることのできなかったコロナ禍以前の、数年前の卒業式の光景が再現されました。

令和4年度の卒業生は99名。令和5年度の入学予定者は88名。在籍者数は11名の減となります。本校の在籍者数は年々減少しています。これまでの常識では、規模が小さくなることはマイナスのイメージを強く感じさせるものでした。しかし、本校はコンパクトであるがゆえに大規模校では実施できないことが実施可能となっていたり、伝統が途切れず引継がれたりしていることがあることに、この一年間気付かされました。今後も「上高だからこそできること」を探り、学校の運営に力を尽くしたいと考えています。保護者の皆様をはじめ地域の皆様におかれましては、来年度も本校へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1学年より

71回生の皆さん、いよいよ今年度が終わります。1年間を振り返って、今、どのような心境でしょうか。次の学年になるための準備は、しっかりとできているでしょうか。

さて、今日は準備に関するお話です。あるリサーチ会社の調査によると、営業準備をしなかった時の商談成功率が30%程度に対して、事前に準備をした時の成功率は61%と、営業準備をすると成功率が2.1倍高かったそうです。そういえば、かの有名なイチローも「1打席の準備のために、前日のゲームが終わった後から準備している」と、インタビューで答えていました。良いパフォーマンスを発揮するには、普段の準備が大切です。

この春休みは文字通りの休みではなく「準備期間」です。学習面・生活面・先輩になるため等々、準備するべき事は山積みだろうと思います。短い期間ですが、4月からナイスな生活が送れるよう、万全の準備を行ってください。「結果は準備が8割」です。

2学年より

2年生が間もなく終わろうとしています。70回生のこの1年間を表すとすれば、「成長」の一言に尽きると思います。“Challenge（チャレンジ）”を学年目標に掲げスタートした2年生は、中堅学年として学校をけん引し、各自の進路に向けてもそれぞれが努力を重ねました。体育祭や橄欖祭、修学旅行などの行事も盛りだくさんで、そのたびに生徒たちは大きく成長してくれました。それぞれがこれまでの1年間を振り返り、「3年生0学期」から「3年生1学期」へと気持ちを新たにして、この春の時間を大切に使うてほしいと思います。保護者の皆様、この1年間学年の取り組みにご理解、ご協力いただきありがとうございます。来年度はいよいよ高校生活最後の1年間を迎えます。70回生のさらなる飛躍を願っています。

3学年より

69回生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、卒業証書授与式に際しまして、お祝いや心遣い等を多くの皆様からいただき、本当にありがとうございました。さらには、この3年間、69回生の指導に際して、ご理解と様々なご支援をいただいたことについても重ねて御礼申し上げます。

式当日は、卒業生の最高学年にふさわしい立ち振る舞い、さらには想いのこもった代表生徒による答辞によって一生の思い出に残る感動的なものになったと思います。新天地でも自分らしく大活躍してくれることを上五島の地から祈念しております。



第69回卒業証書授与式

3月1日(水)に、第69回卒業証書授与式が行われました。3年ぶりに校長先生から卒業証書が一人ひとりに手渡され、99名の生徒が本校を巣立っていきました。

コロナ禍のため、臨時休校や部活動の禁止、さまざまな行事が規模を縮小しての開催となったり、3年間、多くの困難に直面した学年でした。その困難を仲間と乗り越え、優しさに溢れるたくましい大人になりました。新天地でも頑張ってくれることと願っています。



送 辞
在校生代表 (三宅叶希君)



卒業証書授与
卒業生一人ひとりが手渡して受け取りました



答 辞
卒業生代表 (近藤海斗君)



卒業式後、生徒玄関で卒業生を見送る在校生・職員



卒業式の様子



2年生が、3年生の教室を飾り付けて卒業を祝いました。

第2学年総合的な探究の時間に係る最終発表会

3月2日(木)に、本校体育館で2年生の総合的な探究の最終発表会を実施しました。新上五島町の発展に寄与するために、約1年間、生徒たちは様々な企画を考え、実践してきました。この取り組みについてプレゼンテーションを行い、その後、グループに分かれて協議しました。当日は、新上五島町役場の方々や、大学コンソーシアム長崎の学生の方々にご参加いただき、ご助言をいただきました。



【研究テーマ】

「災害に備えて自分達で対策しよう」
「世代間交流で人と人が憩える町を」
「新上五島を健康で安心な町へ！PJ！」
「高齢者を元気に」
「子育てがしやすいまちづくり」
「屋内施設をつくる」

「上五島の魅力をつなごう、広めよう」
「注目される街づくり」
「観光スポットを作って人を呼び込む」
「上五島に観光客を増やそう」
「流行語を『上五島』に」
「Let's Change Kamigoto in history」

進学希望者向け説明会

3月14日(火)～22日(水)に、「You'll never study alone (ユルネバ)」学部学科コンサルティングウィークと称して、進学希望者向けの説明会を行いました。この説明会は、進学希望の生徒が学問系統ごとにグループを作り、それぞれのグループに先生方から助言を受けて、今後の進路研究に役立ててもらうために実施されました。新年度に向けて、より一層自らの進路意識が高まったことと思います。

「医療・栄養」系の説明



「法学・経済学」の説明



NCCふるさとCM大賞グランプリ受賞！



電気情報科の3年生4名が、課題研究の授業で1年間作成したふるさとCM「想い、伝わる。」が、第18回NCCふるさとCM大賞で見事グランプリを受賞しました。

受賞作品と受賞者4名の喜びの声は、3月26日(日)12時から、NCC長崎文化放送の特別番組で放送されます。ぜひご覧ください。

4月の行事予定

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 4日(火) スタディーサポート(2年) | 12日(水) 面談週間(～21日) |
| 春の自学会(3年) | 20日(木) 部活動編成 |
| 5日(水) 新入生オリエンテーション | 21日(金) 進路ガイダンス |
| 10日(月) 1学期始業式・新転任式・入学式 | 24日(月) 生徒会専門委員会 |
| 11日(火) 各種検査 | 25日(火) 歓迎遠足 |
| 個人写真撮影(1年) | |



←上五島高校の最新情報はここから。または下のホームページアドレスまで。
ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>